

丙

判決

三月二十九日

合校

行施

三月三十日

月第

日号

（差）

月 日

起案用紙（丙）



日 月 送 受 号 課 局 議 合

欄 号 課 局 管 主

第 号	第 号
送 月	送 月
受 日	受 日

第 73 号

案 起

昭和二十五年

三月二十九日

受 局 課

付 課

月 第

日 号

（差）

月 日

案

課 長 小 倉 伸 一

事 務 官

主 任

年 月 日

渉 外 課 長

公 衆 衛 生 局 長 宛

年 令 性 別 及 び 勞 働 程 度 に よ る 日 本 人 の 食 糧 攝 取 標 準 改 正 の 件

總 司 令 部 公 衆 衛 生 福 祉 局 よ り 別 添 写 の

厚 生 省

通 令 三 月 二 十 九 日 附 覚 書 を 受 領 し 所 か ら 送 付 十 五 日

349

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
Public Health and Welfare Section
APO 500

25 March 1950

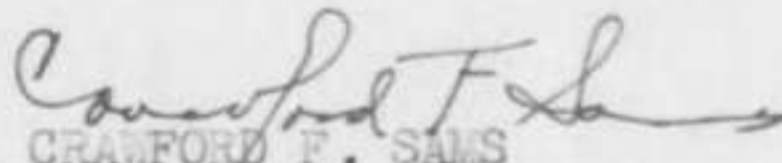
PHMJG 127

MEMORANDUM TO: The Japanese Government
Ministry of Foreign Affairs
Economic Stabilization Board
Ministry of Welfare

SUBJECT: Revision of Standards for Food Intake of Japanese by
Age Group, Sex and Labor Grade

1. Reference is made to letter of Ministry of Foreign Affairs, POM No. 433(ESB), dated 7 March 1950, with inclosure of letter from Economic Stabilization Board, and to letter of Economic Stabilization Board with inclosure of report from the National Food and Nutrition Council, "Scientific Basis for Calculation in the Revision of Standards of Food (Calories and Protein) Intake of the Japanese by Age Group, Sex and Labor Grade."

2. There is no objection to the adoption of the revised standards developed by the National Food and Nutrition Council for the future policies and plans concerning food and nutrition.


CRAWFORD F. SAMS
Brigadier General, Medical Corps
Chief

DIST. "B"

裏
面
白
紙

350

総司令部 公衆衛生福祉局 發

外務省

日本政府 經濟安定本部 宛 覚書
厚生省

昭和二十五年三月二十五日

年令、性別及び労働程度による日本人の
食糧攝取標準改正の件

一、一九五〇年三月七日附の經濟安定本部書簡、同封の外務省
書簡 FOM 四三三号 (安本) 及び國民食糧栄養対策審議
会の報告「年令、性別及び労働程度による日本人の食糧
(カロリー及び蛋白質)攝取標準改正の計算の科学的
基礎を同封した經濟安定本部の書簡参照。

厚生省

二、食糧と栄養に関する将来の政策と計画用に國民食
糧栄養対策審議会の作製した改正標準を採用
するに、異議なし。

公衆衛生福祉局長

軍医准將

クロフォード、エフ、サウス